

青森新聞

青森県立
共栄中学校
2年A組
和田光留

青森の良い所

有名な食べ物って何だろう?! 特産品

青森の特産品は陸のものや海のもの、そして、それを加工したものなど、たくさんあります。

その中でも、まずは甘いのが特徴なため、何となく、でもりんごがジュースに用いられることが多いです。

・青森りんご

種類は「ふじ」「やよいつがる」が有名で、「ふじ」は、かじると「しゃくしゃく」とした食感があり、さっぱりとした味わいです。「つがる」は、酸味が少なく、

甘いのが特徴なため、ジュースに用いられることが多いです。

・魚介類

日本海と太平洋に囲まれ、寒流と暖流がぶつかり合うなどして、いろいろな魚介類がとれます。ホタテやイカ、イワシやヒラメ、大間マグロも有名です。

青森ねぶた祭りには、東北または日本を代表する夏祭りです。

青森県で8月2日から7日に開催される、大迫力のある大きな山車(だし)で、何台も引き回すお祭りです。

その際、山車を引き回す人や、それについて、とびねる人などが、



く踊り半のかけ声は、「ラッセラーラッセラー」で、見に来ている観客も一緒にかけ声をします。

ちなみに、踊り手は「跳く」(ハネル)といいますが、ねぶたの意味は、「眠たい(ねむたい)」から来ているという説もあります。

祭りの目的は、「無病息災」を祈ることです。それは、海に囲まれているため、海で働く人や、人々が津波などから守られるよう願いを込められていると思います。

最終日の7日夜には、海に浮かんだねぶたと花火が合わさり、素晴らしい光景です。

観光名所 奥三内丸山遺跡

「奥三内丸山遺跡」は、歴史の教科書に必ず出てくる縄文遺跡です。

日本の特別史跡に指定されていて、縄文時代の生活様式を見学できます。

三内丸山遺跡では、竪穴住居や、大人や子供の墓、たくさん出土した土器や石器などが発掘されました。ここでは、それらを再現したり、大切に保管したりしています。

縄文時代の食生活は、栗やクルミ、イモ類、マメ類など植物性が大部分だったようです。

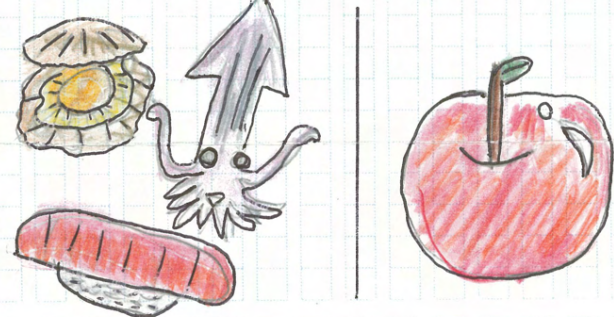


「奥三内丸山遺跡」は、青森県十和田市の十和田湖にあります。

ここは、散策しやすいのが魅力です。春から秋には新緑。秋には紅葉が美しく、四季を感じることが出来ます。

全行程は約十四キロメートル(トール(四、五時間)のハイキングコースがあります。

歩きながら、草木や滝、溪流を眺めることが出来るのは、完全に自然の中に入ります。ぽり入り込んで、心も体も元気になるようです。



どんな気候?

青森県は、三方を海に囲まれ、真ん中に奥羽山脈が県内を二分しているなど、海域や地形が複雑なことから、同じ県内でも、地域によって気候が大きく異なります。

特に、冬は、津軽地方の大雪と、夏の太平洋側ので低気圧・多湿の雨が多くなります。

「奥三内丸山遺跡」は、青森県十和田市の十和田湖にあります。

ここは、散策しやすいのが魅力です。春から秋には新緑。秋には紅葉が美しく、四季を感じることが出来ます。

全行程は約十四キロメートル(トール(四、五時間)のハイキングコースがあります。

歩きながら、草木や滝、溪流を眺めることが出来るのは、完全に自然の中に入ります。ぽり入り込んで、心も体も元気になるようです。

編集後記

この新聞のテーマを「青森県に理由を、父の出身地が青森市だからです。」

最近ではコロナなどで行っていないかもしれませんが、幼い頃は、よく行ってました。青森は、北海道から近いようですが、気候も雰囲気もかなり違っていて、父が言うていました。この新聞制作を通して、改めて知ることも多々学びになりました。

青森の良いところを、もっと知りたくなりました。

| 平均的な気温 | 高 | 低 |
|--------|------|------|
| 8月 | 23.0 | 14.0 |
| 9月 | 19.0 | 10.0 |
| 10月 | 13.0 | 6.0 |

